

高等学校教材

笑い かたり うたい
みんなが生きてい
大空からみてごら
小さいマツチ箱の
ほそぼそとくら
いうもんじゃ
助け合つてい
感謝し合つて
わが家には
家族が生きて
大空からみて
小さいマツチ箱
ほそぼそとくら
いうもんじゃない
助け合つている
感謝し合っている

大学日语中级阅读

盛祖信

虞崖暖／编著



华东理工大学出版社

高等学校教材

大学日语中级阅读



盛祖信

虞崖暖、编著



华东理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

大学日语中级阅读 / 盛祖信, 虞崖暖编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2005. 1

ISBN 7-5628-1645-X

I. 大... II. ①盛... ②虞... III. 日语-阅读教学-高等学校-水平考试-教材 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 143312 号

大学日语中级阅读

盛祖信 虞崖暖 编著

出版	华东理工大学出版社	开本	850×1168 1/32
社址	上海市梅陇路 130 号	印张	10
邮编	200237 电话(021)64250306	字数	260 千字
网址	www. hdlgpress. com. cn	版次	2005 年 1 月第 1 版
发行	新华书店上海发行所	印次	2005 年 1 月第 1 次
印刷	上海长阳印刷厂	印数	1—5 050 册

| ISBN 7-5628-1645-X/H·447 | | 定价: 18.00 元 | |

前言

本书是大学日语专业泛读教材,是在《大学日语基础阅读》(华东理工大学出版社出版)的基础上,为进一步扩大学生阅读量、提高学生阅读能力而编写的。可供大学二年级第二学期使用,同时也适合具有同等语言程度的大专学生及自学者作为辅助阅读材料使用。

全书共 20 课,每课包括以下 5 个部分。

一、课文——均选自日本原版刊物,包括小说、随笔、评论等多种体裁,不少出自名家之手。选文力求符合年轻人的阅读情趣,着力体现日本式的风趣幽默,藉此激发学习者的阅读兴趣,进而使他们理解日本语言、了解日本社会及文化。

二、单词——各课单词释义以本课课文词义为主,另附一、二常用词义。单词词性的标记法同一般日汉辞典。

三、注释——针对课文新出现的语言现象、疑难点或易误解处进行专项解释,并配上相应译文,必要处添加例句,以方便读者自学之用。单词和注释所用参考文献可见书后附录。

四、诗歌欣赏——旨在让学习者接触到日语表达形式的又一层面,从而进一步领略日语之风采。诗歌主要选自日本各大文学网站发表、转载并允许翻录的诗选,均为浅显易懂的日本现代短诗。编者未对诗歌添加任何注释,以便为学习者留下一片独自玩味的空间。

五、读解练习——读解短文大多选自日本各类日语测试公开问题集,其程度均与课文相当,可供学习者用以自测阅读能力。书后附有解题答案。所选读解短文大多具有一定的知识性和趣味性,即使仅将此作为一般阅读也不无裨益。

本书由盛祖信主编,并承担注释的编写;虞崖暖承担单词的编写。本书的出版承蒙华东理工大学出版社的大力支持,日本新潟县长冈市立中学校国语教师中泽邦造先生为本书的编写提供了大量资料,值此付梓之际,谨表诚挚谢意。

由于时间仓促且水平有限,书中可能存有种种疏漏与不足,恳请读者不吝指正。

编者

2004 年 10 月

目次

第1課	1
【本文】言葉の魔術	1
【単語】	5
【解説】	6
【詩を味わおう】わが家	8
【読解練習】	9
第2課	12
【本文】横文字ごのみ	12
【単語】	16
【解説】	18
【詩を味わおう】われら人間家族	21
【読解練習】	22
第3課	25
【本文】卵の立つ話	25
【単語】	28
【解説】	29
【詩を味わおう】夜空	31
【読解練習】	32
第4課	35
【本文】失敗作	35
【単語】	40
【解説】	42

【詩を味わおう】道程	46
【読解練習】	46
第5課	49
【本文】国会議員の居眠り	49
【単語】	53
【解説】	55
【詩を味わおう】この恋の行方	58
【読解練習】	60
第6課	62
【本文】皆既日食見聞記	62
【単語】	66
【解説】	67
【詩を味わおう】深夜放送	70
【読解練習】	71
第7課	73
【本文】動物たちの超感覚	73
【単語】	77
【解説】	80
【詩を味わおう】麒麟	83
【読解練習】	84

第 8 課	87
【本文】病氣自慢	87
【単語】	91
【解説】	93
【詩を味わおう】花の一日	96
【読解練習】	97
第 9 課	99
【本文】仕事と人格	99
【単語】	103
【解説】	105
【詩を味わおう】夕焼け	109
【読解練習】	110
第 10 課	113
【本文】友情の杯	113
【単語】	120
【解説】	123
【詩を味わおう】庭での食事	126
【読解練習】	127
第 11 課	131
【本文】犬猫の仲	131
【単語】	137
【解説】	141

【詩を味わおう】鳩	146
【読解練習】	147
第 12 課	151
【本文】語らぬ文化と贈答社会	151
【単語】	156
【解説】	158
【詩を味わおう】人間だから	161
【読解練習】	162
第 13 課	164
【本文】「妹へ」	164
【単語】	169
【解説】	171
【詩を味わおう】わたしの中の井戸	175
【読解練習】	176
第 14 課	178
【本文】フランス人の時間意識	178
【単語】	182
【解説】	183
【詩を味わおう】いまは	187
【読解練習】	188

第 15 課	191
【本文】博士神話	191
【単語】	196
【解説】	199
【詩を味わおう】大好きな君へ	202
【読解練習】	204
第 16 課	207
【本文】「そうですね」	207
【単語】	211
【解説】	212
【詩を味わおう】世界は一冊の本	216
【読解練習】	218
第 17 課	222
【本文】見栄を捨てた精神の輝き	222
【単語】	226
【解説】	228
【詩を味わおう】風	233
【読解練習】	233
第 18 課	236
【本文】かけす	236
【単語】	241
【解説】	243

【詩を味わおう】春に	248
【読解練習】	249
第 19 課	251
【本文】孤独とは何か	251
【単語】	254
【解説】	255
【詩を味わおう】わたしを束ねないで	258
【読解練習】	259
第 20 課	264
【本文】蜜柑	264
【単語】	269
【解説】	273
【詩を味わおう】路傍の樹木	277
【読解練習】	278
附録一 【読解練習】答案	281
附録二 【解説】語法、句型索引	282
附録三 単語索引	284

第1課

【本文】

言葉の魔術

石黒 修

フランスのある田舎のお祭りの日のことです。村の人たちが大勢、ぞろぞろ歩いています。通りの両側には、いろいろな物を売る店が立ち並んでいます。広場にはいくつも見せ物小屋が見えます。その一つの小屋の入り口で、盛んに客を呼んでいるのが聞こえます。

「さあ、いらっしゃい。いらっしゃい。世界に名高い英雄ナポレオンのしゃれこうべがあります。有名なナポレオン皇帝の頭の骨を見ていらっしゃい。」

ナポレオンは、一七六九年に、ヨーロッパとアフリカの間にある地中海のコルシカ島に生まれたフランス人です。軍人となりましたが、戦が上手で、一時はほとんどヨーロッパ全体を征服しました。アフリカまでも攻めました。

ナポレオンは、背は高くなかったけれども、頭が特に大きかったと伝えられています。

村の人たちは、フランスの大英雄の頭の骨を見ようと思って、次々にお金を払って、小屋に入りました。

中には、きれいに飾った台があって、その上にガラス箱をのせ、中にしゃれこうべが入れてあります。そのわきに、りっぱな洋服を着て、ひげをぴんと生やした人が、ナポレオンの偉かった

ことや、どんなことをした人かということ、小屋の周りの高い所に貼ってある絵や地図を指しながら、説明しました。

そして、話し終わると言いました。

「さあ、これが皇帝ナポレオンの頭の骨です。よくごらんのおえ、お帰りください。」

みんなが押しあつて、ガラス箱に近づき、よく見ようとしました。

そのとき、見物人の一人が言いました。

「変だなあ。ナポレオンは、頭が大きかったと聞いていたが、これなら、ふつうの人のとあまり変わらないではないか。」

すると、説明の人が、

「そうです。しかし、これはナポレオンの子供のときの頭の骨です。」

と言いました。

それを聞いて、みんなは、なるほどそれで大きくないのか、しかし、子供の頭としては大きいなと感心したり、うなずいたりして、帰りました。

ナポレオンについては、また、こんな話があります。

戦争がすんで、ナポレオンはパリへ帰りました。そして、明るく日、町を散歩していると、軍服を着た、一人の傷病兵に会いました。見ると、右の腕がありません。

ナポレオンは、その兵士に近づいて、どうして腕をなくしたのかと尋ねました。その男は、このあいだの戦争で、右腕の付け根に弾があたつて、片腕になったと答えました。

ナポレオンは、それを聞くと言いました。

「ところで、おまえは勲章をもらったろうね。」

戦争で勇ましく戦って、手柄をたてるとか、死んだり負傷したりした兵士は勲章をもらい、年金がもらえることになっていたのです。ナポレオンがそう尋ねたのです。

「いいえ、もらいませんでした。」

「それは気の毒だ。何かの手落ちだろう。実は、わたしは皇帝のナポレオンだ。とりあえず、これをあげよう。」

と言って、ナポレオンは、マントの下から、自分の上着に着けていた勲章を、一つ取りはずして、兵士の胸に着けてやりました。

兵士は、すっかり感謝、感激して、礼を言ったかと思うと、

「片腕にさえ、こういうりっぱな勲章がいただけるのでしたら、両腕ともなくしたら、どんなすばらしい勲章がいただけるでしょうか。」

とさけんで、さっとサーベルを抜いて、もう一つの腕を切り落としてしまいました。

さあ、あなたはこの二つの話を読んで、どう思いましたか。

話の筋はたっています。言葉の使い方も間違っていない。

前の話では、子供の頭の骨なら、小さいのは当然です。しかし、ナポレオンが子供のころかぶった帽子とか、はいたくつとか、あるいは洋服なら、おかしくありませんが、「子供のときの頭の骨」というのではインチキです。

日本にも、源頼朝の頭が大きかったというので、これと同じような、頭の骨の見せ物の話があります。

後の話は、左腕しかない兵士が、その左腕でサーベルを抜いて、左腕を切り落としたというのです。もちろん、そんなことはできません。

ですから、これは作り話です。

話の中には、うっかり聞いていると、変でも、間違ってもいいようで、よく考えてみると、おかしいことや、間違っていることがよくあるものです。

「二まで二の五とある。」と言え、なんのことか分かりません。言葉遣いが違うからです。「二と二は五である。」と言った

ら、間違いです。これは言葉遣いに間違いはありませんが、しかし、事実と違いです。また、「始めは終わりである」「負けるが勝ち」などは、言葉どおりでは理屈に合いません。しかし、そう言うことができますし、諺などとして言われています。

そこに言葉の魔術があります。

ごまかしたり、うそを言ったりするのは、もちろんよくありません。

話のうまい人や、偉い人などが、言葉をうまく使って、他人を感心させ、説きふせて、ひとを自分の考えどおりに動かした話は、世間にも、歴史の中にもたくさんあります。

イギリスの文学者で、世界に名高いシェークスピアが書いた「ジュリアス＝シーザー」という劇がありますが、その中に、ブルータスが祖国の自由を願って仲間といっしょにローマという国の独裁者のシーザーを殺し、そのわけをローマの市民たちに説明すると、人々はそれを聞いて、納得しますが、その後でシーザーと親しかったアントニーが、シーザーの暗殺を悲しむ演説をして、うまく民衆を感動させますと、前にブルータスの話を聞いてもつともだと思った人々が、「ブルータスたちを殺せ。」と叫ぶ話が出ています。

言葉は、そうした恐ろしい力を持っています。白を黒と言うことさえできます。魔物のような不思議な力を持っています。

(東京書籍『新しい国語』による)

【単語】

魔術(まじゅつ)	[名]	魔术; 戏法
ぞろぞろ	[副]	一个跟着一个, 络绎不绝
見せ物(みせもの)	[名]	魔术, 杂耍
名高い(なだかい)	[形]	著名, 有名
ナポレオン		拿破仑(人名)
しゃれこうべ	[名]	头盖骨
皇帝(こうてい)	[名]	皇帝
コルシカ島(コルシカとう)		科西嘉岛(地名)
戦(いくさ)	[名]	打仗; 战争
征服(せいふく)	[名・他サ]	征服, 克服
攻める(せめる)	[他下一]	进攻, 攻打
わき(脇)	[名]	旁边
ぴんと	[副]	拉直貌; 翘起貌
ひげをぴんと生やす		留着八字胡
感心(かんしん)	[名・自サ]	佩服; 赞叹
うなずく(頷く)	[自五]	点头; 首肯
パリ		巴黎(地名)
軍服(ぐんぷく)	[名]	军服
傷病兵(しょうびょうへい)	[名]	伤病员
付け根(つけね)	[名]	根儿, 根部
弾(たま)	[名]	子弹
片腕(かたうで)	[名]	一只手臂, 独臂; 得力的部下
勳章(くんしょう)	[名]	勋章
勇ましい(いさましい)	[形]	勇敢, 勇猛
手柄(てがら)	[名]	功劳, 功勋
手柄を立てる	[词组]	立功
負傷(ふしょう)	[名・自サ]	受伤
年金(ねんきん)	[名]	抚恤金; 养老金; 退休金
手落ち(ておち)	[名]	疏忽, 漏洞

とりあえず	[副]	姑且, 首先, 暂先
マント	[名]	斗篷; 大衣
～とも	[接尾]	全部, 全都
さっと	[副]	(动作) 飞速, 迅速
サーベル	[名]	西洋式佩刀
抜く(ぬく)	[他五]	拔出, 抽出; 选出
切り落とす(きりおとす)	[他五]	砍掉, 剪掉, 切掉
筋(すじ)	[名]	条理, 道理
たつ(立つ)	[自五]	成立
インチキ	[名・形動]	骗人的花招; 搞鬼, 骗人
源頼朝(みなもとのよりとも)		源頼朝(人名)
作り話(つくりばなし)	[名]	编造的话, 假话; 虚构的故事
言葉遣い(ことばづかい)	[名]	说法, 措辞
うっかり	[副・自サ]	不留神, 马虎
理屈(りくつ)	[名]	道理, 理由
ごまかす	[他五]	欺骗; 蒙蔽; 敷衍
説き伏せる(ときふせる)	[他下一]	说服, 驳倒
シェークスピア		莎士比亚(人名)
ジュリアス＝シーザー		《裘力斯・恺撒》(剧名, 即《恺撒大帝》)
ブルータス		布鲁图(人名)
ローマ		罗马(国名)
納得(なっとく)	[名・自他サ]	理解, 领会, 认同
独裁者(どくさいしゃ)	[名]	独裁者
アントニー		安东尼(人名)
もつとも	[形動]	合理, 正确, 理所当然
魔物(まもの)	[名]	妖魔, 妖怪, 具有魔力的东西

【解説】

1. 「変だなあ。ナポレオンは、頭が大きかったと聞いていたが、これなら、ふつうの人のとあまり変わらないではないか。」

(“不对呀,我听说拿破仑的脑袋很大,可这个跟一般的头骨没啥两样嘛。”)

◆ これなら: “これ”指代“ガラス箱の中のしゃれこうべ”; “なら”表示以假设的形式提出话题,具有“就……而言”的含义。

2. その男は、このあいだの戦争で、右腕の付け根に弾があたって、片腕になったと答えました。(他回答道,那是在上次作战中,右臂根部被枪弹击中,所以就剩下了一条胳膊。)

◆ あたって: 动词“当たる”的中顿形式,这里表示撞到、击到。

3. 兵士は、すっかり感謝、感激して、礼を言ったかと思うと、「片腕にさえ、こういうりっぱな勲章がいただけるのでしたら、両腕ともなくしたら、どんなすばらしい勲章がいただけるでしょうか。」とさけんで、さっとサーベルを抜いて、もう一つの腕を切り落としてしまいました。(士兵感激涕零,连声道谢后便高喊道:“失去一条胳膊就能得到如此贵重的勲章,要是我两条胳膊都没了,那又将能得到多么名贵的勲章啊!”说着,便一下抽出军刀,将另一条胳膊砍了下来。)

◆ ……かと思うと: 形容事物的过程或变化极其迅速,具有刚以为是这样转眼却已是那样的含义。例如:

○横になったかと思うと、もう眠っている。(刚躺下就睡着了。)

◆ 片腕にさえ: “さえ”在此表示类推,其前面的“に”跟后面的“いただける”相关连,表示授受所依据的名目或理由,需灵活翻译。例如:

○一年目の報酬に五十万円もらった。(第一年的报酬得了50万日元。)

○卒業記念に王さんは写真をくれました。(小王送给我照片作为毕业纪念。)

4. 日本にも、源頼朝の頭が大きかったというので、これと同じよ